

# 第 41 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

## 議事メモ

日 時：令和 2 年 7 月 30 日(木) 15:10~16:45

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

### 1 参加者

玉城 知事、謝花 副知事、富川 副知事、島袋 政策調整監、  
金城 知事公室長、池田 総務部長、金城 企画調整統括監、松田 環境部長、  
宮沢 県警本部長、名渡山 子ども生活福祉部長、大城 保健医療部長、長嶺 農林水産部長、  
友利 産業雇用統括監、渡久地 文化観光スポーツ部長、上原 土木建築部長、  
伊川 会計管理者、半嶺 教育指導統括監、我那覇 病院事業局長、棚原 企業局長、  
系数 保健衛生統括監、真栄城 医療企画統括監

### 2 報告事項

#### (1) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 総括情報部から新たに 49 名の新規陽性者の発生について報告があった。
  - ✓ 274 件の行政検査の結果 27 名の陽性者が、保険診療によって 22 名の陽性者が確認され、合計 324 人となった。
  - ✓ 確認された陽性者のうちには、那覇市松山の繁華街の従業員や利用者が多く含まれているほか、公務員も複数含まれている。
  - ✓ 中部保健所管内のコールセンターで職場内感染が増えており、クラスターが発生していると考えられる。
  - ✓ 1 日に確認された陽性者数としては過去最多を更新した。
  - ✓ 福井県在住者 6 人が石垣に観光に来て発症が確認されている。この方々が利用したキャバクラの店員 3 人も陽性となっている。福井県では石垣で感染したと報道されているが、発症日をみると石垣に持ち込まれた可能性もあり、引き続き調査が必要である。
  - ✓ 本日確認された新規感染者数は含まれていないが、警戒レベル判断指標の状況は、7 つの指標のうち 1 つは第 4 段階、3 つが第 3 段階に達しており、2 つが第 2 段階、1 つが第 1 段階を示している。

- 病院事業局から、県立病院に入院している患者の状況等について報告があった。
  - ✓ コロナ患者の急増に伴い、病院の病症がひっ迫しつつある。後ほど報告があると思うが、宿泊療養施設が利用できるようになるということで、数人の患者がホテルに移動すると聞いている。
  - ✓ 昨日、県立病院職員の罹患が報道発表されたところであるが、記者発表前に情報が拡散され、個人的な中傷がかなりある。本人は精神的にかなり落ち込んでいるため、精神的なサポートを行っているところである。
- 総務部長から、沖縄県職員労働組合の職員に陽性者が確認されたことについて報告があった。
  - ✓ 沖縄県職員労働組合に濃厚接触者情報等を求めているところである。

## (2) 米軍基地内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について

- 米軍基地内で新たに5名の新規感染者が確認され、合計245名となったことについて総括情報部から報告
  - ✓ 隔離期間解除となった人は130名、隔離期間中の方は109名いる。
  - ✓ 7月のクラスターに関連した検査を実施し、検査数は6,355件、陽性率は約4%という報告を受けた。

## 3 議 題

### (1) 新型コロナウイルス感染症対策について

- 沖縄県内における流行状況等について、総括情報部から報告した。
  - ✓ 県内の新規感染者数は7月26日以降、急速に増加している。
  - ✓ 警戒レベル判断指標の状況は、③重症病床利用率、⑦入院1週間以内の重症化率は第1段階、⑥新規PCR検査の陽性率は第2段階、①入院患者数、④直近1週間の新規感染者数、⑤感染経路不明な症例の割合は第3段階、②病床利用率、については第4段階に達している。

- ✓ 30代以下の若年層が約7割感染者の居住地別に見ると、那覇市や中部地域で約8割以上を占めており、全県的な流行ではなく、地域的な流行が始まっているものと思われる。
- ✓ 7月に入ってからの新規感染者は30代以下の若い世代が6割以上を占めている。また、無症状者や軽症者が多い。
- ✓ これらの状況から総合的に判断すると、県全体の警戒レベルは第2段階にあるものとする。しかし、離島地域においても感染が確認されているため、注意が必要である。
- ✓ 中南部地域での発生が9割を占めており、クラスターの発生もあるため、中南部地域で、対象を絞った集中的な対策が必要である。
- 県の取組について総括情報部から説明した。
  - ✓ クラスター発生の恐れがある地域等に対する集団検査を実施する。
  - ✓ 患者推計に基づく必要病床の確保を医療機関に要請し、入院調整を実施する。
  - ✓ 軽症者用宿泊療養施設について、那覇市内で今日(7/30)から運用を開始する。引き続き那覇市内に追加開設と、宮古地域、八重山地域でも開設する。
  - ✓ 医療従事者の確保のため、潜在看護師の募集を開始する。
  - ✓ 那覇市松山地域のスナック、キャバレー等を対象に休業を要請する。
  - ✓ 県民に対し、夜の繁華街への外出や3密対策の徹底、県外への渡航の自粛等をお願いする。

#### <主な意見>

- 医療機関の負担軽減のため、病院を経由せず、コールセンターや保健所から直接ホテル入所することについて提案があった。
  - ✓ 専門家会議等の意見では、一度も診察せずにホテルや自宅療養になると、症状のアセスメントができないため、一度は医療機関で受診することが必要である。
- 県経済全体が萎縮しないよう、休業要請の対象はピンポイントとすべきではな

いかという提案があった。

- ✓ 休業要請の対象施設として4月に実施した休業要請と同様にスナック・キャバレー・ナイトクラブ等と記載すると、遊興施設として分類されたダーツバーやライブハウス、場外馬券場、射的場等まで含むように読めて、ピンポイントにならない。
  - ✓ 今後も、クラスターが発生した施設は、居酒屋でもスナックでもクラスターが発生したらピンポイントで休業を要請する、という記載が必要。
  - ✓ 対象業種について、遊興施設の中から休業要請の対象外となる施設を抜き出す作業は困難である。
  - ✓ 風営法で、接待・接触を伴う飲食店等が規定されており、法律に則した形で対象業種を絞ることができる。
  - ✓ 松山地域以外の遊興施設でもクラスターが発生した店舗はあるが、松山地域は、クラスター発生店舗以外にも、周辺の店舗から散発的に陽性者が確認されている。
  - ✓ 対象地域について絞り込みが難しいが、那覇市保健所がチラシを配布したエリアが松山1丁目、2丁目と聞いている。確認した上で確定したいと考えている。
  - ✓ 知事のコメント発表には間に合わないかもしれないが、本日中に風営法の規定に基づく対象業種や、対象エリアについても、精査して報告する。
  - ✓ 休業要請期間について、疫学的な知見からすると、2週間が必要。休業準備する店舗側の都合を考えると、今日知事メッセージを発出して明日から休業を要請することは厳しい。8月13日からお盆があるため、考慮する必要がある。
  - ✓ 休業要請に協力した事業者への協力金は20万円として準備を進めている。前回同様、対象期間の全てを休業することを支給要件としたい。
- 県民に対する協力依頼について、休業要請の主旨と合わす必要があるのではないかと提案があった。

- ✓ 感染が集中している中南部地域の夜の繁華街への外出、特に松山地域への外出は控えるように呼びかける。
- ✓ 飲食を伴う会合等について、開催する場合は少人数（5人以下）に押さえ、長時間（2時間以下）とならないように呼びかけることとする。
- ✓ 感染対策の徹底されていない場所に出かけることを控えるよう呼びかけるのではなく、ガイドラインが作成され、それに沿った運営をしている場所を選んでお出かけするよう、というポジティブな表現で呼びかけることとする。
- ✓ 県民に協力を呼びかける期間についても、休業を要請する期間と合わせて7月31日から8月15日までとする。
- 警戒レベル第2段階における対策の実施内容について
  - ✓ 実施内容については、既に発表したところであるが、今回、警戒レベル2であっても、地域によっては厳しい状況にあることや、今回休業要請に踏み込むこと等を追記する。
  - ✓ 修正した実施内容については、休業要請の具体的な対象業種や地域と併せて後日、改めて発表することとする。

### 3 閉 会

- 那覇市松山地域の接触接待を伴う飲食店等に休業を要請することや、宿泊療養ホテルが開設となったこと等について、知事メッセージとして発信することを確認して、閉会とした。